

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 タケロック MC50スーパー
会社名 日本エンバイロケミカルズ株式会社
住所 〒541-0051 大阪府中央区備後町三丁目6番14号
担当部門 保存剤業務グループ生産管理チーム
電話番号 06-6268-3426
FAX番号 06-6268-3420
緊急連絡先 保存剤研究開発グループ（電話番号 06-4804-8450 FAX番号 06-4804-8459）
整理番号 A32000A

2. 組成、成分情報

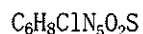
単一製品・混合物の区別

混合物（マイクロカプセル化された殺虫剤を含む土壌処理用シロアリ防除剤）

化学名 (E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトロゲンジン（クロチアニン）

成分及び含有量 2.5w/w%

化学式または構造式



官報公示整理番号（化審法）

5-6732

CAS No 210880-92-5

危険有害成分 労働安全衛生法第57条の2通知対象物：該当物質なし
化学物質管理促進法：該当物質なし

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

環境影響	製品を海、河川、湖沼、下水道等公共用水域や地下水を汚染するおそれのある地中に捨ててはならない。
分類の名称	その他の有害性物質

4. 応急措置

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移って安静にする。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。

石鹼を使ってよく落とす。

外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療処置を受ける手配をする。

目に入った場合 清浄な水で最低15分間目を洗浄したのち、直ちに眼科医の手当てを受けること。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合 直ちに吐き出させ、医師の指示を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 非可燃物である。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には必ず保護具を着用する。

環境に対する注意事項

流出した製品や汚染された排水が河川等に排出しないように注意する。

除去方法

少量の場合：ウエスなどでふき取る。

多量の場合：土砂などでその流れを止め、できるだけ空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 接触防止のため個人保護具を着用する。

注意事項 漏洩を防止する。

保管

適切な保管条件

直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会（年度版）：設定されていない。 ACGIH（年度版）：設定されていない。
保護具	防塵マスク、保護眼鏡または防災面、保護手袋、長靴などを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	粘稠液体
色	類白色
におい	僅かなにおい
pH	6-9

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点範囲	知見なし
分解温度	知見なし
引火点	非該当
爆発特性	なし
比重	約1.01 (20℃)
溶解性	水に分散

10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定である。直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。
反応性	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

1.1. 有害性情報

製品として、

急性毒性	経口LD ₅₀ >2000mg/kg(ラット) 経皮LD ₅₀ >2000mg/kg(ラット) 吸入LC ₅₀ (試験容器内に薬剤を強制的にミストとして噴霧する際にマイクロカプセルの粒子径が噴霧可能な大きさよりも大きいものが多いため実施せず。原体の数値参照)
局所効果	刺激性(皮膚)：無視しうる刺激物(ウサギ) 刺激性(眼)：ほとんど刺激性を示さず、眼刺激性物質に該当しない(ウサギ)
感作性	なし(モルモット、Buehler法)

原体として

急性毒性	経口LD ₅₀ >5000mg/kg(ラット) 経皮LD ₅₀ >2000mg/kg(ラット) 吸入LC ₅₀ >6141mg/m ³ (ラット、4hrs)
局所効果	刺激性(皮膚)：なし(ウサギ) 刺激性(眼)：軽度の刺激性(ウサギ、回復)
感作性	なし(モルモット、Maximisation法)
変異原性	小核試験：陰性(マウス)

1.2. 環境影響情報

製品として、

生態毒性	魚毒性：コイ LC ₅₀ >100mg/L(96時間) その他：オシジノコ EC ₅₀ >100mg/L(24時間), 6.68mg/L(48時間)
------	---

1.3. 廃棄上の注意

廃棄する場合は焼却によって行う。
取扱い及び保管上の注意の項も参照する。

14. 輸送上の注意

注意事項 車両等によって運搬する場合には、荷送人は運送人に運送注意書を交付する。
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう
積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
取扱い及び保管上の注意の項も参照する。

15. 適用法令

該当しない。

16. その他の情報

記載情報は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、これらの
データや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。
また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。